

確認申請時に必要な図書等のまとめ方

合計額	64,000
★印に手入力し合算	

基本的な審査について、該当するものにチェックしてください

またる用途の法6条区分 確認申請書(第三面)で確認します。

平屋かつ200㎡以下 **3号**

階数2以上、または200㎡超え **1号・2号**

図面のまとめ順

現地調査書

- 地盤調査書 (盛岡市・任意添付)
- 都市化調整区域・既設建築物・中高層条則に該当の場合は、必須添付
- 申請書 (1-6類)・概要書 (1-3類)**

概要書3面

- 概要書3面 申請書申請の場合は、概要書1-3面

工事書

- 1-4面 (不要な面は省略)
- 業種との協議が整えば、国のエクセルデータで提出を求める予定

委任状

- 委任状

許可書

- 開発許可 (検済、変更許可、当初許可の簡書)、宅地許可書など、複数許可をまとめて可

調査書

- 工場調査、危険物調査など、複数調査をまとめて可

12条5項報告

- 一式まとめて可

既存調査書

- 一式まとめて可

シットハウス

- 使用建築材料表
- 天井裏等への調査
- 24時間換気計算書
- カタログ等し等 (屋梁、給排水量 根拠資料)

確認図

- 計画概要
- 地上げ表 (外部・内部)
- 断面図
- 基礎調査表
- 基礎調査表 (敷地変換、建築面積、床面積) 最新3号は不要
- 平面図
- 断面図4面
- 断面図2面以上 最新3号は不要
- 階層表 (任意)
- LVS統計 (保土、地盤、排水は要件による)
- 調査に必要な、高層、性能を確認できる各種資料 (カタログ等し等) 最新3号は、場合により必要
- 防火1号既設の場合 (併用設備のカタログ添付、図面に制度門等の明示 など) 〃
- ガスの場合 (ガス発生量や排気量のカタログ添付、図面に計算式明示) 〃
- その他、審査に必要な設計図書等

設備図

- 電気設備図
- 給排水設備図
- 危険物貯蔵設備図
- 仕様ルート (固定方法を明確できる資料等)
- 計算ルート (計算書等)

浄化槽

- 浄化槽表
- 人糞対象人員/処理水量算定書
- 浄化槽経路対象人員算定申請書 (盛岡市に際す)
- 浄化槽認定書、型式適合認定書の写し (構造断面図、ポンプ機オプション図含む)
- 付近見取り図
- 配置図
- 断面図
- 断面図又は短計図
- 外気性能計算書
- 性能の証明となる各種資料 (自己適合宣言書等) ※断熱部位別、ドア、サッシの順に

天窓等

- 窓遮蔽物設置物の配置図
- 計画図
- 正射天空窓
- 天窓半透明仕様図
- 建築単位算定表
- その他、審査に必要な図書

既存不適格

- 図面の調査書
- 既存不適格調査書
- チェックリスト (図面への明示可)
- 既存図面等、ほか確認申請など

● センターからお願い ●

1) 申請書の入力ルールの統一
・別添の、申請書の入力ルールの統一 をお願いします。
※2025年4月から、行政庁への電子報告開始に合わせて
＜対象＞
・書面申請 (申プロ作成)
・電子申請 (NICWeb申請システム)

2) 図面のまとめ順ルールの統一
・図面のまとめ順を統一することで、審査の正確性、迅速性が飛躍的に向上するため、ご協力ください。
＜対象＞
・書面申請、電子申請ともに

3) 電子申請、ファイル一覧へのアップ方法
・ファイル一覧には、常に補正後の正しいデータのみアップ (補正前のデータは削除する)
・PDFの容量は、できるだけ軽くして、ファイル一覧にアップ (データ保存容量逼迫の解消)
・各種資料は、パスワード設定を解除し、ファイル一覧に添付 (審査終了処理ができないため)

基本額：特別あり (新3号) で算定

基本額：特別なしで算定

構造種別	40,000	★
構造種別の合計	特種有 新3号 特種無	
30㎡超え100㎡超え	30,000	12,000
100㎡超え200㎡超え	20,000	28,000
200㎡超え300㎡超え	30,000	40,000
300㎡超え500㎡超え	35,000	50,000

算定例

住宅 (新2号に該当) 18000 ㎡ ★主たる用途

物置 (新2号に該当) 30000 ㎡

車庫 (新3号に該当) 1001 ㎡

22001 ㎡ ★面積はトータルで

構造種別	特種有	特種無
200㎡超え300㎡超え	35,000	40,000

天窓率

棟数 ×	6,000	★
特種	6,000	

既存不適格建築物への増築

棟数 ×	6,000	★
特種	6,000	

構造の審査について、該当するものにチェックしてください

法6条区分 確認申請書(第四面)の棟単位を確認します。

平屋かつ200㎡以下 **3号**

階数2以上、または200㎡超え **1号・2号**

構造審査なし 構造図添付不要

構造図別記? **非木造** **木造**

計算方法は? **構造計算** **仕様規定**

一部計算 **A B**

仕様のみ **A**

★図面の合理化あり 図面を必要無

[A] 仕様規定 特定木造建築物の場合

ファイル一覧のPDF名称

構造図

- 変更後または設計ツール
- 仕様書 (併用設備の場合は、センター独自設計分の明示をお願いします。)
- 仕様書等に転記することで、添付省略となる図面 (任意添付可)
- 商業書等の写しではない、建築士法士の図書保存義務の対象
- 基礎図面
 - ・各階床状況及び小屋状況
 - ・2階以上の軸組図
- 壁計算
- 壁配置のバランス
 - 〇 四分法
 - 〇 偏心率≦0.30の場合、計算書
- 柱頭柱脚の接合方法
 - 〇 N値計算
 - 〇 告示1460仕様 (階高3.2m以下)
- 構造詳細図
 - ・耐火構造等の構造詳細図 (屋根、外壁)
 - ・基礎の仕様、開口部詳細 (窓等、人通り、設備開口)
 - ・構造用部材との取合い
 - ・構造用部材の隅部の取合い
 - ・筋交いと取合い
 - ・壁等及び柱の構造方法
 - ・接合金物納まり詳細図
- 任意の壁仕様、金物等の性能を確認できる各種資料

地盤調査報告書

- 地盤調査報告書
- 取調書の場合、本調査報告書を完了時に提出
- 近隣調査報告書を利用する場合、試験した土質が同じである資料を完了時に提出

地盤改良図

- 地盤改良仕様書
- 地盤改良位置図

[B] 仕様規定 その他

- 部分別計算 (構造計算を行う場合)
 - 〇 計算書
 - 〇 必要な状況等
- 以下の場合には、計算書のみ添付
 - 〇 基礎[告示1347第2]
 - 〇 柱の小径[告示1349第2]
 - 〇 継手仕様[告示1245]

[C] 許容応力度計算 (ルート1) の場合

ファイル一覧のPDF名称

構造図

- 構造計算安全証明書 (必要な場合)
- 仕様書33頁のみ 添付しない場合は、センター独自設計分の明示をお願いします。

構造計算書

- 構造計算書
- 基礎状況
- 各階床状況及び小屋状況
- 2階以上の軸組図

構造詳細図

- 耐火構造等の構造詳細図 (屋根、外壁)
- 基礎の仕様、開口部詳細 (窓等、人通り、設備開口)
- 構造用部材との取合い
- 構造用部材の隅部の取合い
- 筋交いと取合い
- 壁等及び柱の構造方法
- 接合金物納まり詳細図

任意の壁仕様、金物等の性能を確認できる各種資料

- その他、審査に必要な設計図書等

地盤調査報告書

- 地盤調査報告書
- 取調書の場合、本調査報告書を完了時に提出
- 近隣調査報告書を利用する場合、試験した土質が同じである資料を完了時に提出

地盤改良図

- 地盤改良仕様書
- 地盤改良位置図

構造加算 (非木造)

棟数 ×	6,000	★
------	-------	---

構造加算 (木造)

棟数 ×	15,000	★
------	--------	---

構造種別の棟数、床面積の合計

構造種別	床面積の合計	木造	非木造
30㎡超え	30㎡超え	5,000	7,000
30㎡超え100㎡超え	100㎡超え	10,000	12,000
100㎡超え200㎡超え	200㎡超え	12,000	15,000
200㎡超え300㎡超え	300㎡超え	40,000	50,000

算定例

住宅 (新2号に該当) 18000 ㎡ ★1棟、構造分難なし

物置 (新2号に該当) 30000 ㎡ ★1棟、構造分難なし

車庫 (新3号に該当) 1001 ㎡

構造種別	床面積の合計	木造	非木造
100㎡超え200㎡超え	200㎡超え	5,000	7,000
200㎡超え300㎡超え	300㎡超え	10,000	12,000

省エネの審査について、該当するものにチェックしてください

省エネ基準の適用除外

有

- ① 1.10以下
- ② 窓面積を占める割合が高い関係性を有することにより省エネ調和設備を必要としないもの
- ③ 近接する建築物、文化財等
- ④ 応急仮設建築物、仮設建築物、仮設調理場等仮設建築物

無

法6条区分 確認申請書(第四面)の棟単位を確認します。

平屋かつ200㎡以下 **3号**

階数2以上、または200㎡超え **1号・2号**

省エネ審査なし 省エネ審査あり

省エネ審査あり

申請方法は? **仕様基準** **計算**

[A] 仕様基準の場合

※省エネ基準の添付は不要

省エネ図面

- チェックリスト (★推奨添付) または、 (仕様書)
- 外皮及び設備機器の性能の証明となる各種資料 (自己適合宣言書等)
- 本書のまとめ順 (断熱材別、ドア、サッシ)
- 本書のまとめ順 (断熱材、換気、給湯、照明)
- 確認図の平面図に、設備機器の設置場所、高さを明示してください。

[B] [C] 計算の場合

省エネ図面

- 通知書等の写し
- 添付図書一式
 - 申請書等
 - 計画書
 - 設計内容説明書
 - 委任状
 - 付近見取り図
 - 配置図
 - 仕様書 (住上表含む)
 - 各階平面図
 - 床面積棟間図及び表積表
 - 用途別換気設備図及び表積表
 - 立面図
 - 断面図又は短計図
 - 外皮性能計算書
 - 外皮断熱仕様図及び表積表
 - 性能の証明となる各種資料 (自己適合宣言書等) ※断熱部位別、ドア、サッシの順に
 - 設備機器表
 - 一次エネルギー消費量計算書
 - 設備機器の性能の証明となる各種資料 ()
 - 照明プラン図

申請時に、上記一覧のNo.9～15の通知書等を添付できない場合は、添付

申請時に添付できる場合、添付 添付不要

申請時に添付できない場合、添付 添付必要

申請書の場合も、添付 添付必要

省エネ加算 (仕様基準)

棟数 ×	3,000	★
------	-------	---

構造種別の棟数、床面積の合計

構造種別	床面積の合計	仕様基準の棟数
30㎡超え100㎡超え	30㎡超え	3,000
100㎡超え200㎡超え	100㎡超え	5,000
200㎡超え300㎡超え	200㎡超え	10,000
300㎡超え500㎡超え	300㎡超え	10,000

算定例

住宅 (新2号に該当) 18000 ㎡ ★1棟

物置 (新2号に該当) 30000 ㎡

車庫 (新3号に該当) 1001 ㎡

構造種別	床面積の合計	仕様基準の棟数
100㎡超え200㎡超え	200㎡超え	5,000
200㎡超え300㎡超え	300㎡超え	10,000

省エネ加算 (他機関の通知書等)

棟数 ×	3,000	★
------	-------	---